

まちづくりのコンセプト



1

いつきても、だれときても



- ・ 家族や友達、パートナーなどと過ごせる、お気に入りの海辺の居場所をつくります。
- ・ 特別感のある海辺の立地を活かした魅力的なコンテンツにより、そこが目的地となる水際線を目指します。



2

わくわくに導かれて



- ・ その先に何が待っているのか期待感が高まり、つい歩を進めたいくなる楽しい水際線をつくります。
- ・ 散歩、ジョギング、モビリティなど、海風を感じながら、移動そのものが楽しくなる仕掛けをつくります。



3

一日のはじまりから、おわりまで



- ・ 水際線ならではの体験の充実を図り、朝から水際線の魅力を堪能できる機会を創出していきます。
- ・ 水際線を彩る光の演出やナイトガーデンなど、コンテンツの充実を図り、夜まで楽しみ尽くせる水際線をつくります。



4

©Shugo TAKEMI/Japan Triathlon Media

今ここでしか味わえない体験を



- ・ 水際線をフィールドに、躍動感・臨場感あふれるイベントやライブ、スポーツなどが繰り広げられている日常をつくります。
- ・ 歩いているだけで、そこにいてだけで、ここでしか見られない景色や瞬間に出会える水際線をつくります。



5

そして、水際線からまちなかへ



- ・ 連続するグリーン空間やイルミネーション等により、水際線からまちへと人々を誘う仕掛けづくりをしていきます。
- ・ まちに訪れた人々が、飲食やショッピング等を楽しみ、横浜のまちを満喫できる機会を創出していきます。